

1. はじめに

1914年に日本で最初に継目無鋼管を製造した長い歴史を持つJFEスチールの鋼管事業は、常に技術革新に取り組み、

れにともない、これまで求められていた強度だけではなく、破壊に対する安全性も要求されるようになり、これに対応する材料として高変形能鋼管を開発した

表5 JFE スチールグループの鋼管製造設備と製造可能範囲ゾ

とにより、高強度で溶接性に優れた非調質型高級鋼を製造し、OE鋼管の素材としている。HOPの適用により、高強度鋼靱性ラインパイプ、および、高強度耐サワー用鋼管の製造を行っている。

3.2.2 スパイラル鋼管

スパイラル鋼管製造設備は主に建築用の鋼管を製造している。また、N コラムなどの製造を行う鋼管加工設備を有している。

3.3 知多製造所

知多製造所は、中京工業地帯に立地し、石油や天然ガス

の開発などに使われる油井管やラインパイプを始めとして、水道・ガス管、建材用鋼管、自動車用部材などを製造する鋼管専門工場である。製造設備としては、2ラインの継目無鋼管製造設備と4ラインの電縫鋼管製造設備を有している。電縫鋼管製造設備のうち1ラインは、ホットレデューサーを有するJFEスチール独自のH 鋼管を製造できるラインとなっている。

3.3.1 継目無鋼管

継目無鋼管の製造ラインは、マンネンスマン穿孔-マンドレルミル方式の小径継目無鋼管工場と、マンネンスマン穿孔-プラグミル方式の中径継目無鋼管工場の2ラインあ

る。小径継目無鋼管工場は外径 177.8_{mm} (5") までの鋼管を製造し、中径継目無鋼管工場は 177.8_{mm} (5") から 426.0_{mm}

